



I like the scenery along the Nakatsugawa River, which shows various expressions in each season. Because, I can feel the changing seasons in the beauty of nature, and the cultural monuments and traditions will enrich my heart.

「思い出と友情が重なる風景」

下小路中学校 二年 安部花音

私は、四季折々に多彩な表情を見せる中津川沿いの風景が好きです。

なぜなら、自然の美しさの中に季節の移ろいを感じるとともに、文化的なモニュメントや風物詩が心を豊かにしてくるからです。

街に流れる中津川は、北上川、栗石川と合流して、太平洋へ流れ、世界各国と海をつながっています。

中津川沿いには、小さい頃の思い出や盛岡市の姉妹都市であるビクトリア市との友情を感じる風景があります。

家から近いため、家族で散歩したり、トレーニングで走ったりしていた中津川沿いは、私にとって、小さい頃から身近な存在です。

また、川沿いの盛岡市役所を起点として、下の橋までのビクトリア市との交流の歩みが感じられる風景もお気に入りです。

盛岡城跡公園沿いのビクトリアロードでは

ピクトリア市でも見ることできるハンギングバスケットが景色に彩りを添えています。公園には、姉妹都市提携十周年を記念して寄贈されたトテムポールや記念植樹された楓の木が両市の友情の証としてたたずみ、私たちを見守ってくれているように感じます。下の橋沿いには、新渡戸稲造生誕地があり、脚を組んで椅子に座ってホースをとる、優しいまなざしの新渡戸稲造の銅像に会うことができそうです。

ここでも、ハンギングバスケットが飾られていきます。以前、盛岡市主催の「花と緑の街づくり」事業で、親子三代でハンギングバスケットを作るお手伝いをしたことがあり、ここに来ると、その思い出がよみがえります。姉妹都市提携は、盛岡市で生まれ、ピクトリア市で亡くなった新渡戸稲造のご縁で結ばれました。ピクトリア市との文化的なつながりを感じられる生誕地は、心が落ち着き、励まされる場所のひとつです。

また、印象的な秋の風物詩は鮭の遡上の風景です。二月に放流した鮭の稚魚が、外洋の長い旅を終え、生まれた川に戻ってくる一生は、想像力をかき立てられるとともに人生にも通じるロマンを感じます。

ビクトリアアロイドのたもとに寄贈されたカナダのサイモン、日本の鮭の二匹が並んで泳いでいるモニメントは、遡上する鮭たちを応援してくれているように思えます。

盛岡には、長年にわたって継承されてきたお祭り、三大麺に代表される食文化、南部鉄器などの工芸品など歴史に裏打ちされた数々の価値あるものがあります。

それらとともに日常を支える豊かな生活環境があることを伝えていきたいと思えます。